

令和5年度(令和6年度実施)事務事業評価

事業整理番号	0901	- 18
--------	------	------

事務事業名	池袋副都心移動システム推進事業	担当組織	都市整備部	都市計画課
-------	-----------------	------	-------	-------

事業特性														
	事業開始年度	30年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画	計画事業No.	6	－	3	－	1	－	6
	単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	関連するSDGsゴール		3	7	8	9	11	17		
事業を構成 する予算事業	①	池袋副都心移動システム推進事業			②									
	③				④									
	⑤				⑥									

政策体系(令和5年度基本計画)				
地域づくりの方向	人間優先の基盤が整備された安全・安心のまち	政策	魅力を支える交通環境づくり	
施策	総合交通戦略の推進	政策番号	6-3-1	
関連する個別計画	池袋副都心交通戦略	計画策定年度	平成23年度	計画期間 令和17年度

1. 事業の概要・指標の達成状況									
(1)実施の対象(具体的に記載)	インバウンド、来街者、区民、商店会、地元民間団体、企業								
(2)事業の目的・期待する効果	本システムは単なる移動手段ではなく、豊島区の魅力を上げる装置として整備する。池袋駅周辺においては、4つの公園を基本とした回遊ルートを運行し、他の地域においても本車両を活用したまちづくりを積極的に展開し、豊島区全体の価値を高めることを目的とする。								
(3)事業概要	池袋副都心におけるLRT整備構想を見据えた移動システムとして、地理に不慣れな来街者や高齢者等の交通弱者にやさしく、環境に配慮した低速電気バスを導入し有償運行を行う。本事業はプロポーザルで公募したまちづくり団体・運営事業者と連携し進める。								
(4)目標の達成状況	5年度の取組内容 5年度に実施した具体的な業務内容	・乗合運行、貸切運行の実施 ・ルート変更、運賃改定(期間限定運賃の終了、1回乗車・大人100円→200円、1日乗車券・大人250円→500円) ・IKEBUS車両の大規模改修・評価委員会の実施 ・区イベントでの活用・情報誌IKENAVIの発行(4回)・IKEBUS運行4周年イベント実施 ・サポーター企業・民間企業との協働プロジェクトの実施							
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)	5年度(実績)	(達成率)	6年度(計画値)
	①	池袋駅周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいると思う割合	↗	%	47	48	46.7	97.3	48
		② 年間の乗合バス乗車人数	↗	千人	99	138	69	50.0	107
		③ 年間の貸切運行数	↗	便	167	200	173	86.5	182
	指標の説明	①協働のまちづくりに関する区民意識調査 ②乗合バス利用者の延べ人数 ③貸切バスの運行便数							
	達成状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	車両の不具合や乗務員不足により運行便数が減少したため。					
(5)取組実績	活動指標 事業の実施状況	活動指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)	5年度(実績)	(達成率)	6年度(計画値)
	①	PR活動(試乗会等)の開催	↗	回	10	15	20	133.3	20
		② 1日当りの乗合バス運行便数	→	便	33	51	28	54.9	28
		③							
	指標の説明	①単独イベント・企業等のイベントでIKEBUS展示やPR活動を行った回数 ②年度間の乗合バスの1日当たりの乗合バス運行便数の平均値							
	達成状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	車両の不具合や乗務員不足により乗合バスの運行便数が計画より少なくなった。					

2. 事業費の推移								
単位		4年度		5年度			6年度	
〔金額の項目:千円 人数の項目:人〕		予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R5決算比)
事業費	A	160,837	155,846	170,811	161,393	94.5%	159,443	-1,950
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料							0
	地方債・その他							0
	一般財源	C=A-B	—	155,846	—	161,393	159,443	-1,950
正規職員人数※小数点第1位まで		1.7	名	1.7	名		1.7	名
会計年度人数※小数点第1位まで		0.0	名	0.0	名		0.0	名

3. 総合評価及び令和6年度以降に向けての対応・改善策

【指標の達成状況(a)】

→S、A、B、C、Dの5段階で評価

C

根拠

PR活動の開催を除き、計画値を下回っているため

※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。

※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。

(1)令和5年度成果と課題

①目標に対する成果状況を踏まえた課題

車両状況や乗務員不足により運行便数が少なくなり目標とした指数を下回ってしまった。

②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)

メディアへの露出度が高く池袋の注目度が上昇している。R6.3末までの広告換算費:約8.8億円

【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】

S、A、B、Cの4段階で評価 →

B

根拠

現状の条件下で企業や団体と連携した利用促進策やPR活動を行った。

※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。

※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。

①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)

車両状況や乗務員不足により運行便数が少なくなり目標とした指数を下回ってしまった。

②現状の実施状況における所管課の認識

事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択した理由	「有」の場合は対応策も記載。
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	無	選択した理由	実施済みである
サービスに係るコストは適正か	適正	選択した理由	R5年度の評価委員会では広告換算費を含めた費用対効果について一定の評価を頂いているが、今後更なる増収策を実施する必要がある。
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名	

③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況

対応、改善を既にを行った	はい	はい	取組内容及び効果	PR強化(SNSでの情報発信等)、サポーター企業等とのコラボなどにより協働のまちづくりを実施し魅力の発信ができた。	予算措置	無
--------------	----	----	----------	---	------	---

はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)

対応、改善の予定

有

無

対応、改善の予定がない理由

有

対応、改善の内容	乗務員募集強化、車両改修、乗車券販売の拡大、貸切事業の拡大、広告収入の増加等	予定時期	R6年度～				
予算措置	無	有	<table> <tr> <td>予算措置を伴わない実施との比較検討</td> <td></td> <td>予算措置を伴う理由</td> <td></td> </tr> </table>	予算措置を伴わない実施との比較検討		予算措置を伴う理由	
予算措置を伴わない実施との比較検討		予算措置を伴う理由					

【区が実施する必要性(c)】

S、A、B、Cの4段階で評価 →

A

根拠

誰もがまちを回遊できる移動装置として、また、地域団体、民間企業が協働で区の魅力を引き上げる事業は他に類の無い事業である。

※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。

※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。

①区が実施する理由(複数選択可)

☐	区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	法律の要請を受けて行う事業である。
☐	民間事業者等に同様のサービスがない。	その他(理由)

②区民ニーズ

区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(成果)	①	指標番号(活動)		サービス利用者数	50名以上
			推移	→	推移			

有・無どちらも

区民ニーズに対する認識

R5年度に実施したアンケート調査では、IKEBUSをお勧めしたい割合は74%と高く、池袋の回遊性や魅力を高める移動システムと言える。

総合評価(d)=a+b+c

ランク3

4.【前年度事務事業評価対象事業のみ】改善に向けた取組内容について			
(前年度事務事業評価表) 4「所管課の認識・R5年度以降の対応」を記載	①車両の安全性を確保し増便を図る ②運営事業者及びまちづくり団体の協定更新 ③評価委員会の開催 ④現在実施中の期間限定運賃の改定検討 ⑤貸切事業の拡大		
上記の改善に向けて取り組んだ内容を記載(未着手の場合には理由を記載)	①⇒乗務員不足もあり段階的に増便を進めてきた ②⇒R6.4.1付で協定更新 ③⇒一定の評価は得られたが、事業収支や満足度では課題があり、改善が必要であるとの結論。 ④⇒R6.2.1に期間限定運賃を終了し通常運賃へ変更 ⑤⇒貸切事業では、R5年度より11便の増便を行い利用者も270人の増となった		
改善に向けた取組内容についての自己評価 (e)	予定通りに進んだ	根拠	目標とする指標値には達しなかったが、様々な取り組みは予定通り進められた。

5. 令和6年5月末時点の状況	
①令和6年度当初の課題・ニーズ	乗合運行では、アンケート調査からも少ない便数を指摘されており、更なる増便が必要。アトカルツアー等の企画旅行はリピーターもいるなど人気であるが、企業や大学とのコラボ企画や一般の貸切ツアーも増やすことが必要。収支改善のため運賃収入の増と広告収入を増収することが必要。
②国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	無し
③令和6年度の方針・取組方針(事業展開)	i) 車両の安定化を図るため走行充電距離が少ない車両からバッテリー交換を実施。 ii) 運行ルートの検討や運行便数の増便に向け車両の安定化や乗務員の増員を行う。 iii) 観光関係部署やサポーター企業等と新たな貸切事業を検討・提案を行い実施する。 iv) 1日乗車券等の販売所の増設。 v) 新たなサポーター企業の勧誘や新たな支援制度の導入。
④令和6年度の事業進捗状況	i) 新たなバッテリーシステムの試験走行を実施中。ii) バス運転手の募集イベントへの参加。 iii) 地域資源発掘型プログラム事業(補助事業)を活用した「IKEBUSで巡るIKEBUKURO」ツアーを官民共同で提案予定。サポーター企業との連携強化に向け「サポーター情報交換会」を開催する予定。 iv) 池袋駅周辺のホテルと乗車券の販売について協議中。v) サポーター特典やファンクラブ等の新たな制度を検討中。
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	利用しやすいよう運転間隔を短くし便数を増やしてほしい。 他の地域での運行や池袋駅西口側のルートの拡大。 池袋のイメージが上がったと感じる。観光地としての魅力が増した。 PRをもっとすべき。
⑥上記⑤に対する対応	乗務員の増員に向けた募集の強化を行うと共に運行ルートや季節に合わせたダイヤの検討を行う。SNSでの情報発信や企業等のイベントで車両展示を行うなどPRの機会を増やす。

-----以降の項目は、評価内容を踏まえて管理職が記載してください-----

今後の事業費予算要望（f）	現状維持	根拠	運賃収入を含め増収を目指す、人件費が大幅に上昇しているため。
今後の事業の方向性（d+e+f） （現状の評価および施策評価を踏まえた評価）	B	※eは該当の事業のみ加味	
上記判断と今後の事業の方向性を踏まえ、令和6年6月以降に向けての対応を記載（改善方法、課題への対応など）			
上記の今年度の事業展開を早期に実施し、収支の改善を図り、池袋の回遊性を高めると共に豊島区の魅力を向上するため、様々な取り組みをサポート企業や関係部署と進める。			